



7a Mesa Redonda

ブラジルの政治経済状況とその展開

2018年10月19日

主催： CCBJ, N3Plus , Licks Attorneys

駒村 聖 / Kiyoshi Komamura



【主な学歴】

小学校～大学(Mackenzie大学工学部)までブラジルで基本教育を受ける。

東京大学大学院工学部の工学修士課程、
F.G.Vargas大学の経営学修士課程
を修了。

【主な職歴】

JFEスチール(旧川崎製鉄)に30年近く勤務し、現場、企画、原料、
ブラジル駐在(ブラジルJFEスチール社長)、技術協力を体験。

同時にブラジルのツバロン製鉄所、MSG、NESの
ボードメンバーも歴任しブラジルでのビジネス・交渉を経験。
リオ商工会議所・副会頭。

現在、N3Plus・パートナー、
BRASTEL・顧問、
CCBJ・アドバイザー、
日本ブラジル中央協会・理事として活動中。

カラペト・ホベルト / Roberto Carapeto



【主な学歴】

小学校～大学までブラジルで基本教育を受ける。
法学学士(LL.B)、リオデジャネイロ州立大学法学部(2009年)
修士 (M.A. in Law)、早稲田大学法学研究科(2014年)

【主な職歴】

ブラジルの総合法律事務所の知財グループで実務経験を積む。現在は、早稲田大学知的財産法制研究所のリサーチコラボレーター(博士課程)として日本の法を学びつつ、ブラジルの法制度についてのコンサルティング。

Licks特許法律事務所東京オフィスでの日本企業のサポートしている。

日本技術貿易株式会社でオフカウンセラー。

南米の法に関する講義や企業サポートを行っている。大学でも教えている。

また、ブラジルの知財分野に関する情報を日本語で提供するウェブサイト『ブラジル知財』を開設・運営している。

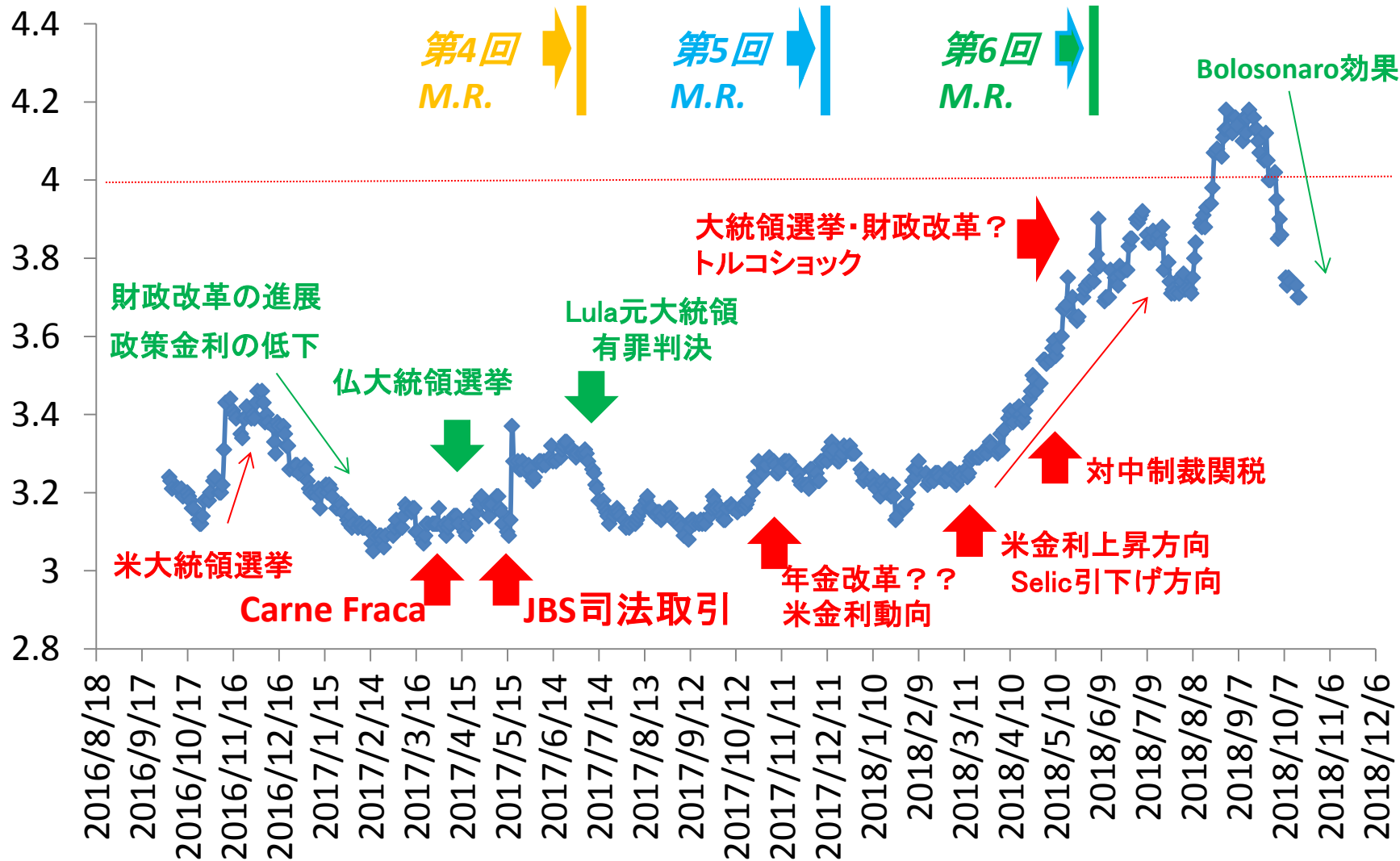


BRASIL

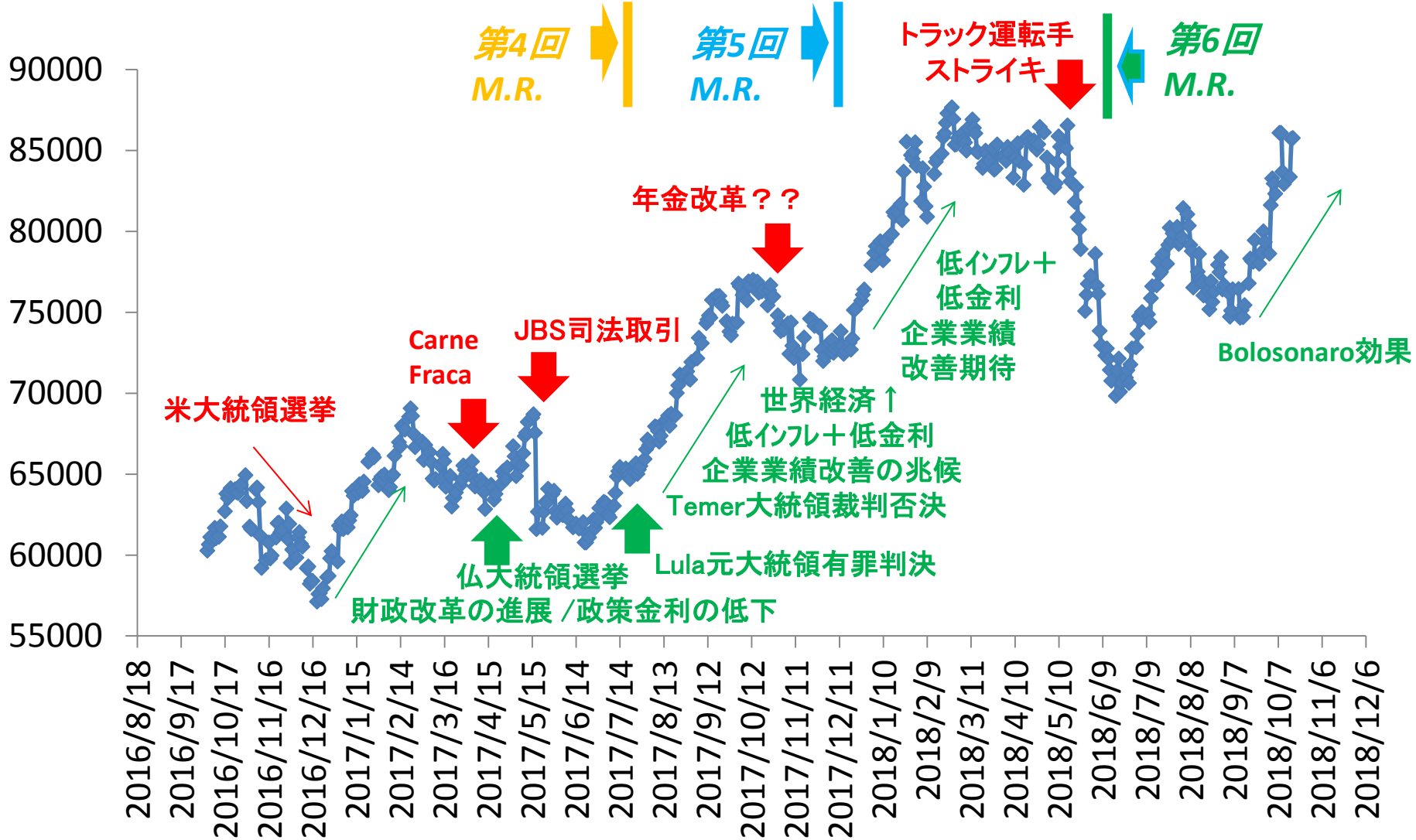
現在の状況???

レアル通貨・為替推移

R\$/US\$

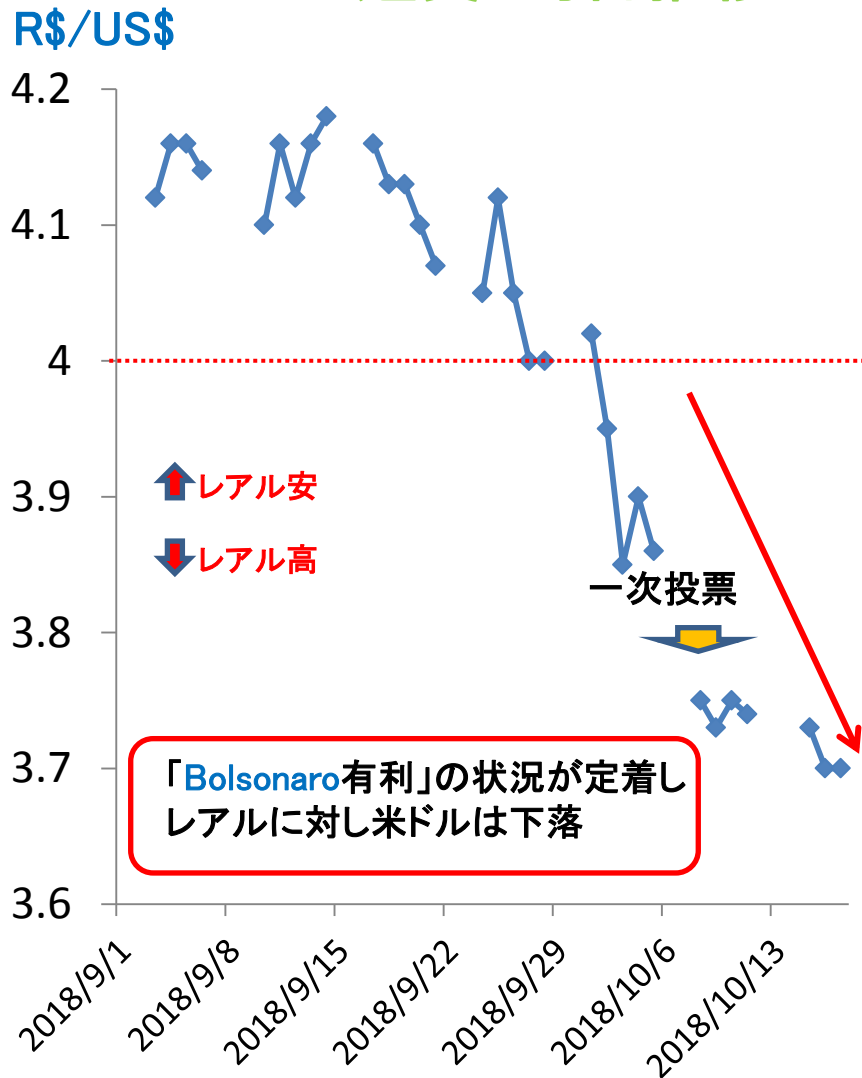


ボベスパ指数推移 (IBOVESPA)

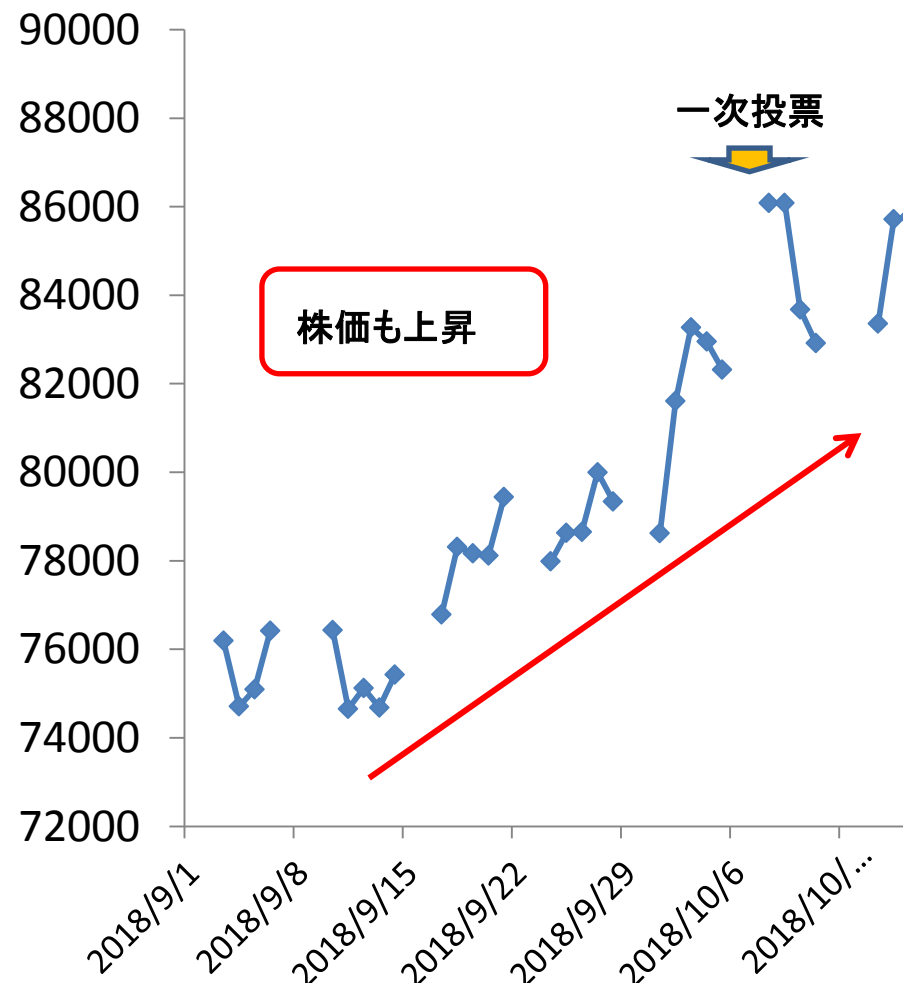


Bolsonaro効果

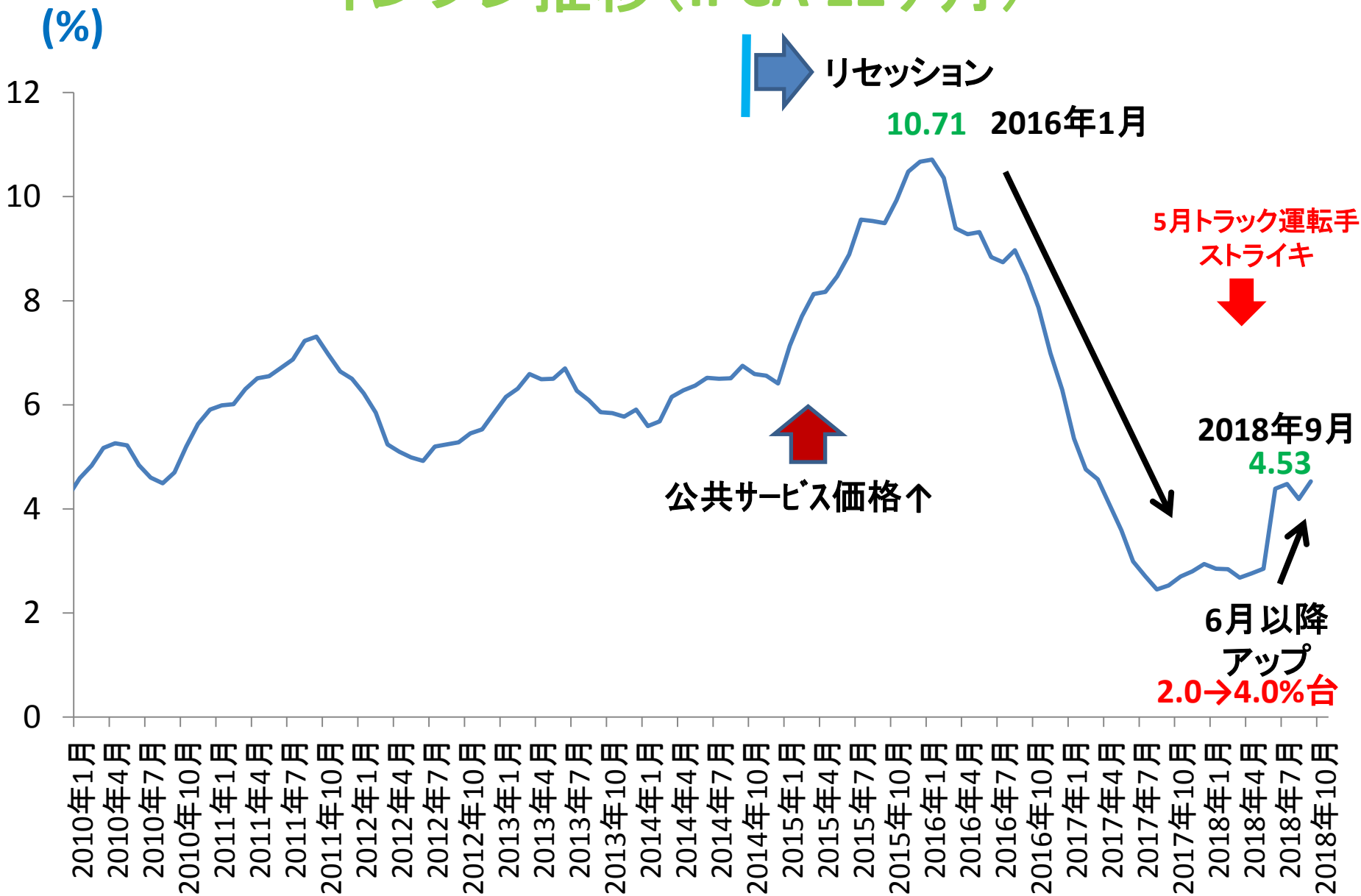
リアル通貨・為替推移



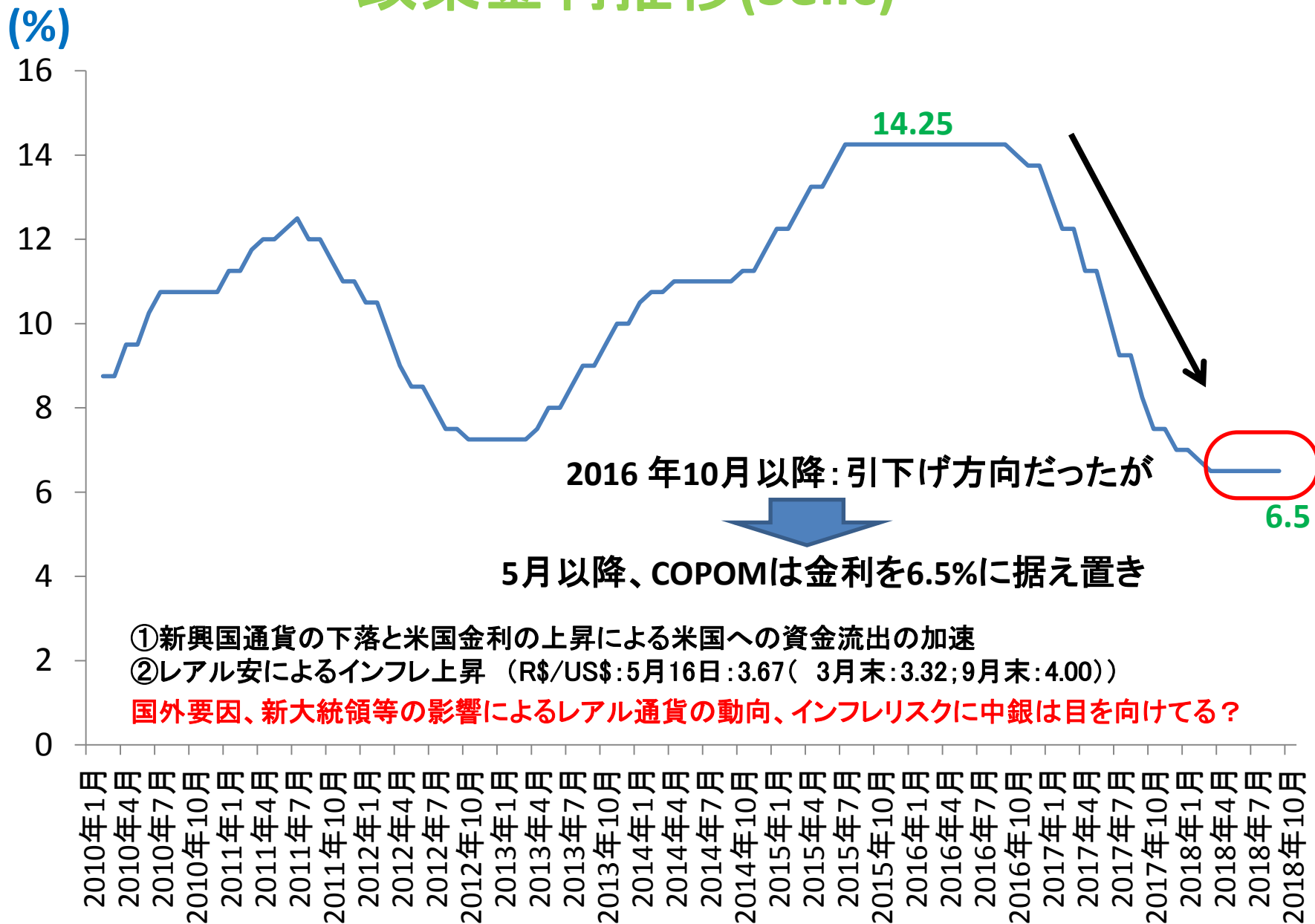
株価推移 (IBOVESPA指数)



インフレ推移 (IPCA 12ヶ月)

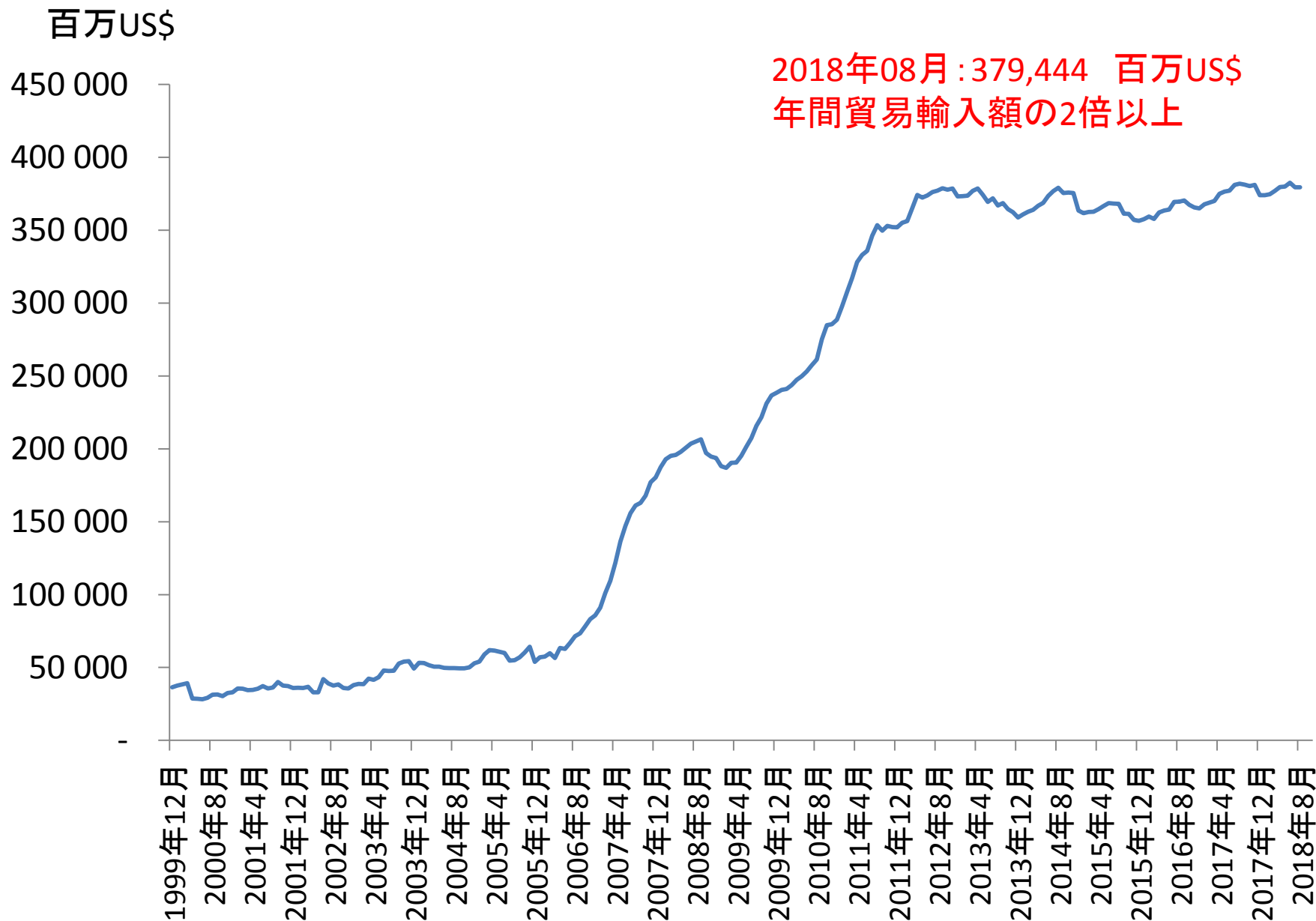


政策金利推移(Selic)



外貨準備高

2018年08月:379,444 百万US\$
年間貿易輸入額の2倍以上

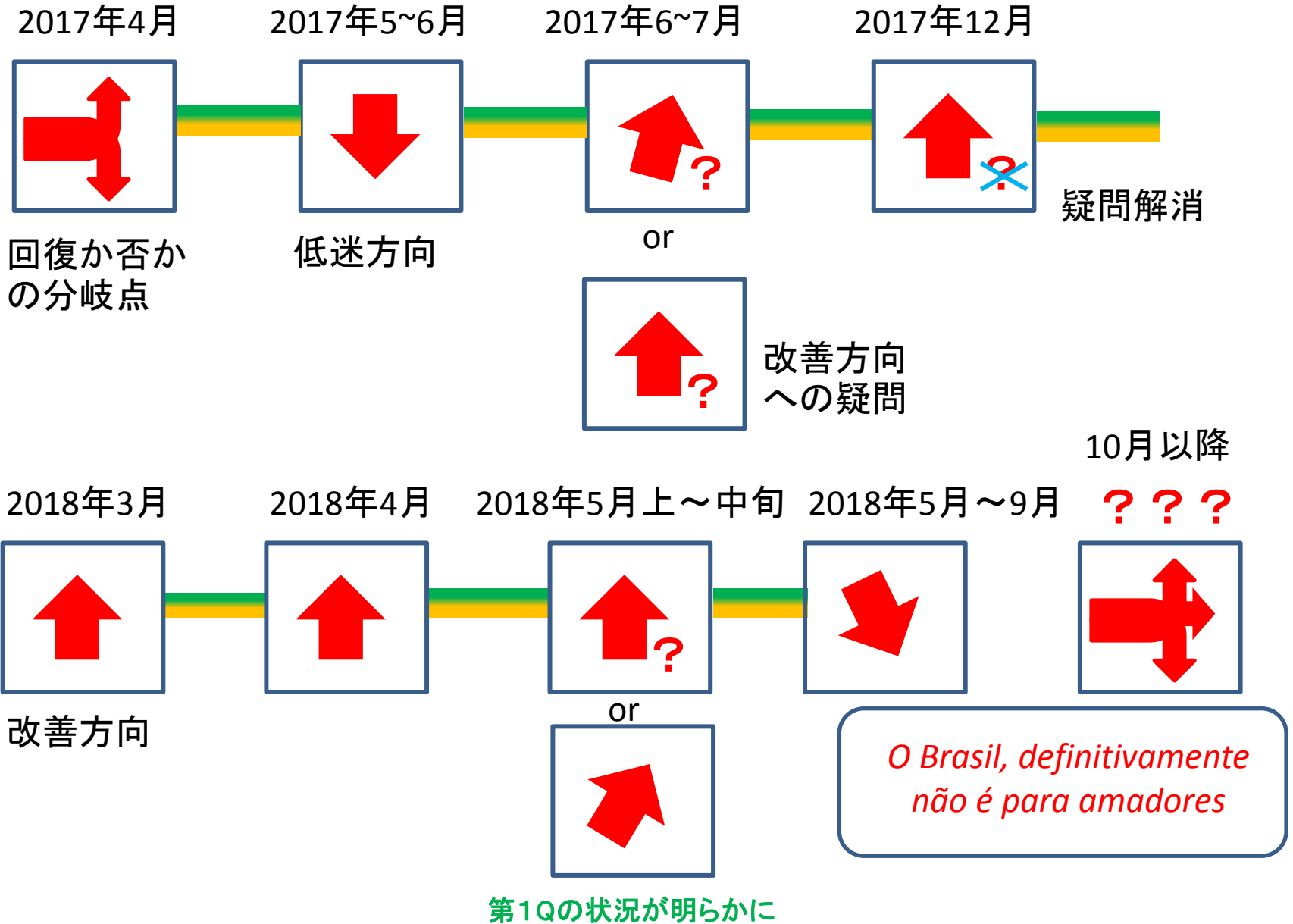


ブラジル・2大銀行による見通し (見通しの下方修正が目立つ)



	A					B				
	12/2016	07/2017	11/2017	05/2018	10/2018	10/2016	07/2017	11/2017	05/2018	10/2018
GDP 2017	1.0%	0	0.9%	<u>1.0%</u>	<u>1.0%</u>	2.0%	0.3%	0.8%	<u>1.0%</u>	<u>1.0%</u>
GDP 2018	3.0%	2.0%	2.8%	2.5%	1.1%	4.0%	2.7%	3.0%	2.0%	1.3%
GDP 2019	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	2.5%	3.7%	3.3%	3.4%	2.8%	2.0%
US\$/R\$ 2017 (年末)	3.25	3.20	3.10	<u>3.31</u>	<u>3.31</u>	3.50	3.50	3.25	<u>3.31</u>	<u>3.31</u>
US\$/R\$ 2018 (年末)	3.35	3.30	3.20	3.35	3.90	3.60	3.60	3.50	3.50	3.90
US\$/R\$ 2019 (年末)	3.50	3.35	3.30	3.45	3.80	3.60	3.55	3.40	3.50	3.90
IPCA 2017 (インフレ)	4.7%	3.4%	2.8%	<u>2.9%</u>	<u>2.9%</u>	4.8%	3.3%	3.3%	<u>2.9%</u>	<u>2.9%</u>
IPCA 2018 (インフレ)	4.5%	4.0%	3.9%	3.5%	4.4%	4.2%	4.0%	3.8%	3.7%	4.5%
IPCA 2019 (インフレ)	4.5%	4.3%	4.3%	4.3%	4.2%	4.1%	3.6%	3.9%	4.0%	4.3%

ブラジル経済・市場評価の流れ



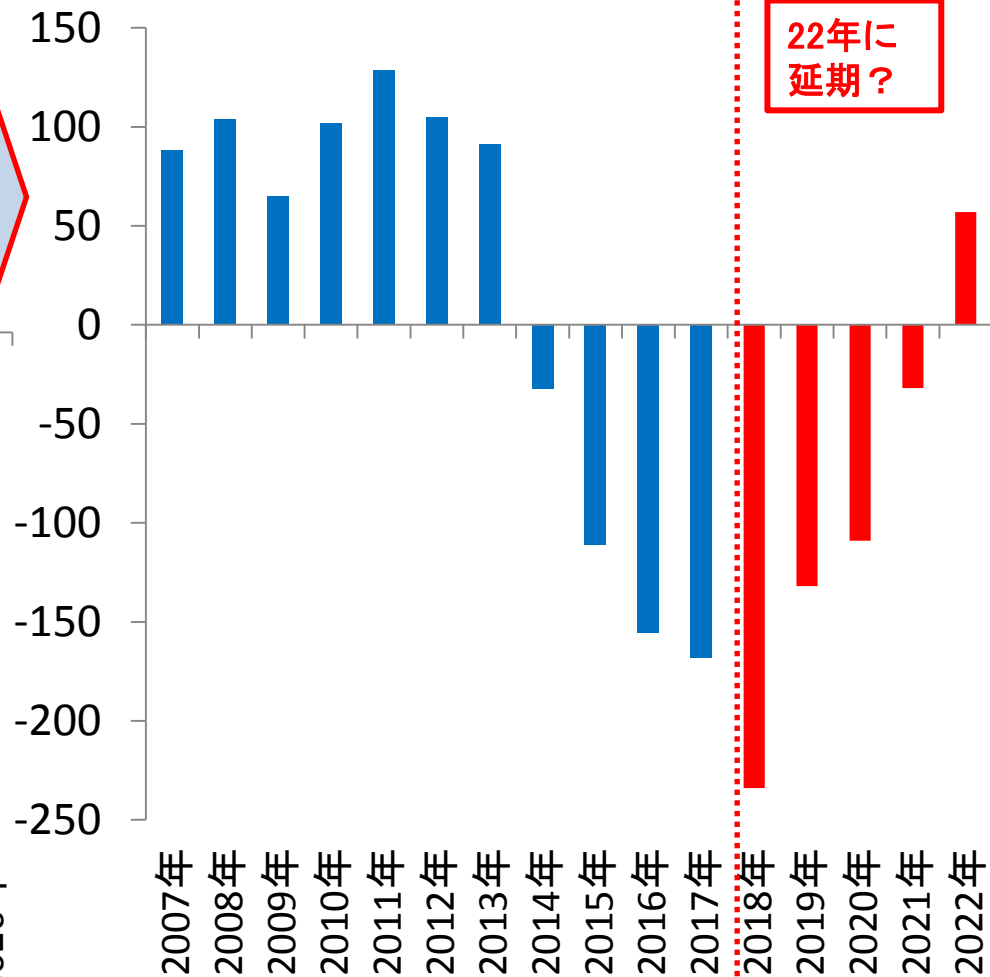
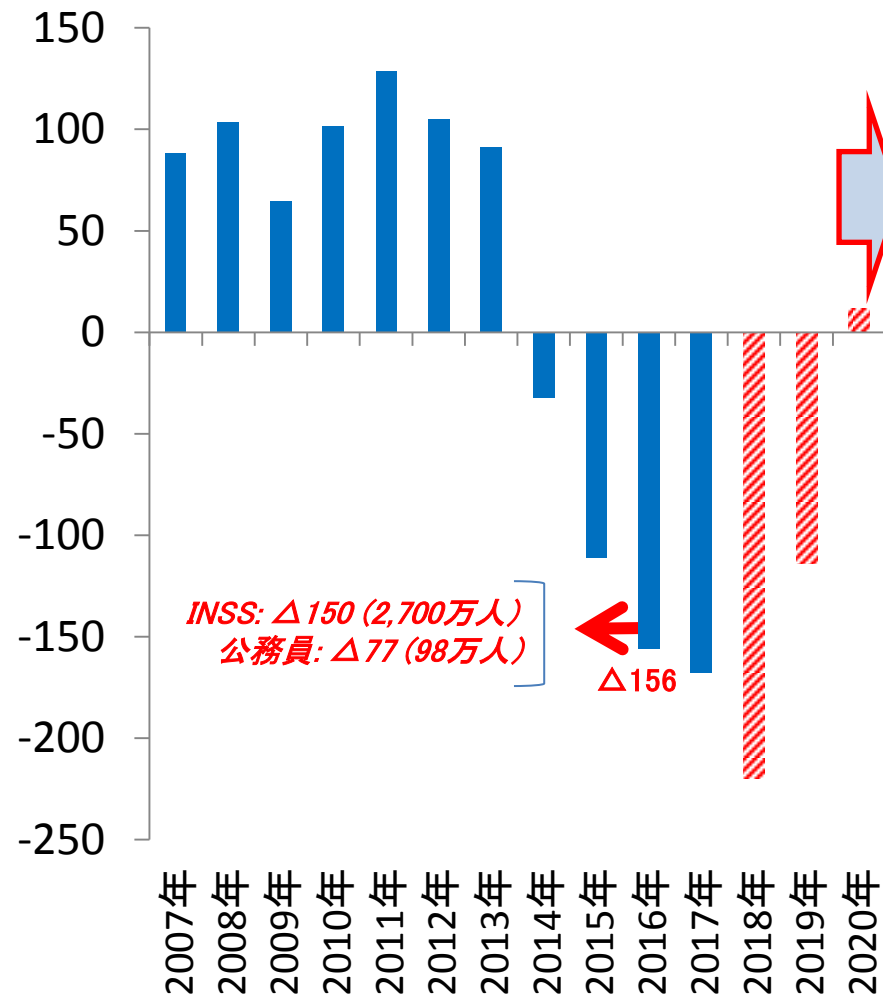
ブラジル政府の財政問題

ブラジル・プライマリーバランスの推移

(10億R\$)

2018年5月予測

2018年10月予測



大統領選挙後の経済シナリオ どうなるブラジル？？？

Who is Bolsonaro? : 63歳、元陸軍大尉



右: Bolsonaro; 中: Onyx議員(次期官房長官候補)
バック: Eduardo議員(Bolsonaroの息子; 185万票で
トップ当選) 2月26日: 赤坂見附

キャッチフレーズ

「ブラジルを全ての上に、神は全員の上に」

Brasil acima de tudo, Deus acima de todos

経済

- ・民営化、コンセッション等により国の債務を20%削減。
- ・省庁数の削減による効率化
- ・税収の改善: 脱税防止、納税軽減

治安

- ・武器所有の法律緩和
- ・刑事責任年齢を16歳に見直し
- ・人権の考え方の見直し: 被害者優先

→ **Bolsonaro**のメッセージはシンプル、ストレートで判り易い。通訳もし易い。

【経営者がBolsonaro候補支持する主な理由】

- ・労働者党(PT)に二度と政権を任せてはいけない。経済の破綻、汚職等を繰り返してはならない。
- ・Bolsonaroの経済ブレーン、Paulo Guedes氏の国営企業の民営化、支出の抑制等のメッセージを好意的に受け入れている。

【経営者がBolsonaro候補を支持しない主な理由】

- ・Paulo Guedes氏は元々スペキュレータ。経済をハンドリングする能力等ない。
- ・経済の立て直しには国会の承認が必要な事項が多い。Bolsonaro候補が国会との交渉能力もスキルもない。
- ・国会のサポートが得られない場合、軍の力を利用してでも強引に運ぶような行動をする懸念がある。国が止まる。(Bolsonaroは陸軍出身、組んでいるMourão副大統領候補は陸軍のGeneral)

【中～低層がBolsonaro候補を支持する主な理由】

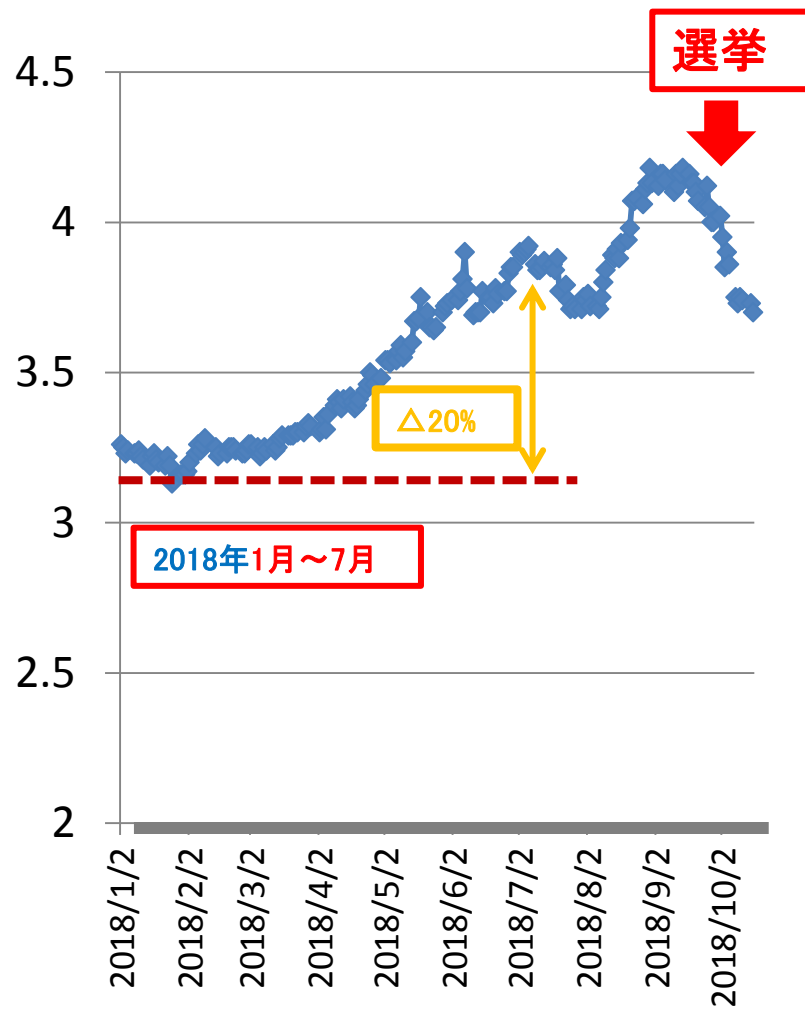
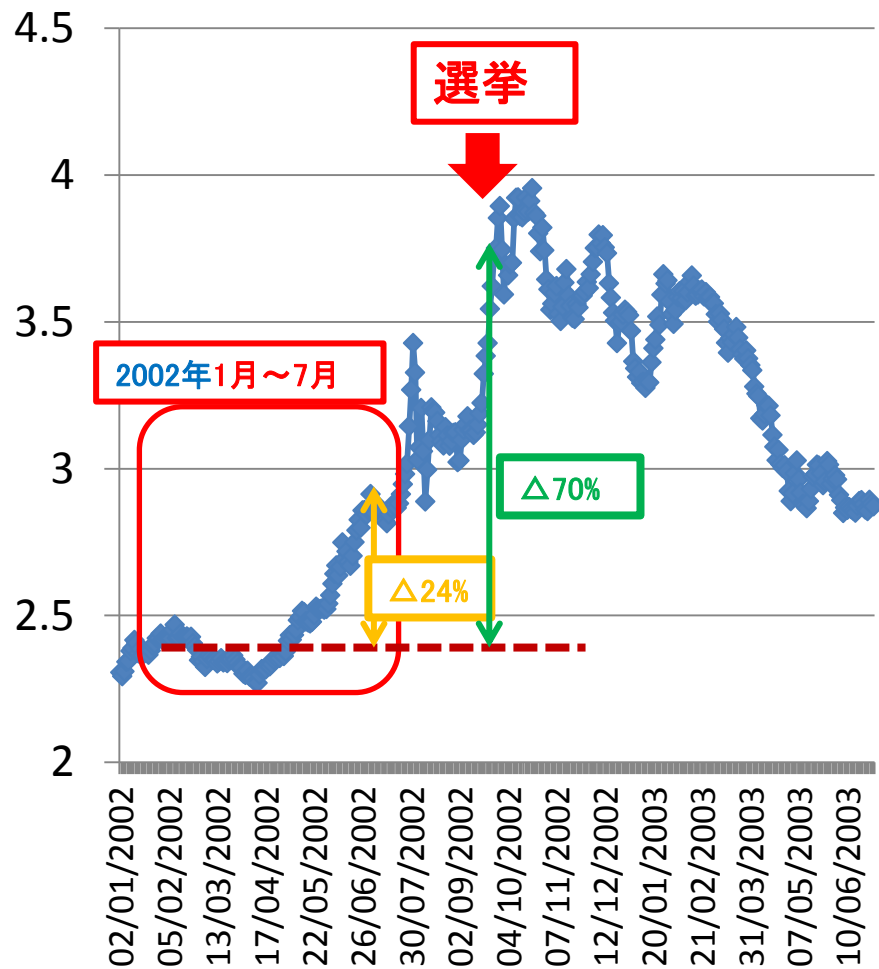
- ・混乱と汚職への疲れ。過去の政権を担当した党、大物政治家への不信感。
- ・モラルと誇りを取り戻して欲しい。
- ・今のブラジルはパワフルなリーダーが必要。

【中～低層がBolsonaro候補を支持しない主な理由】

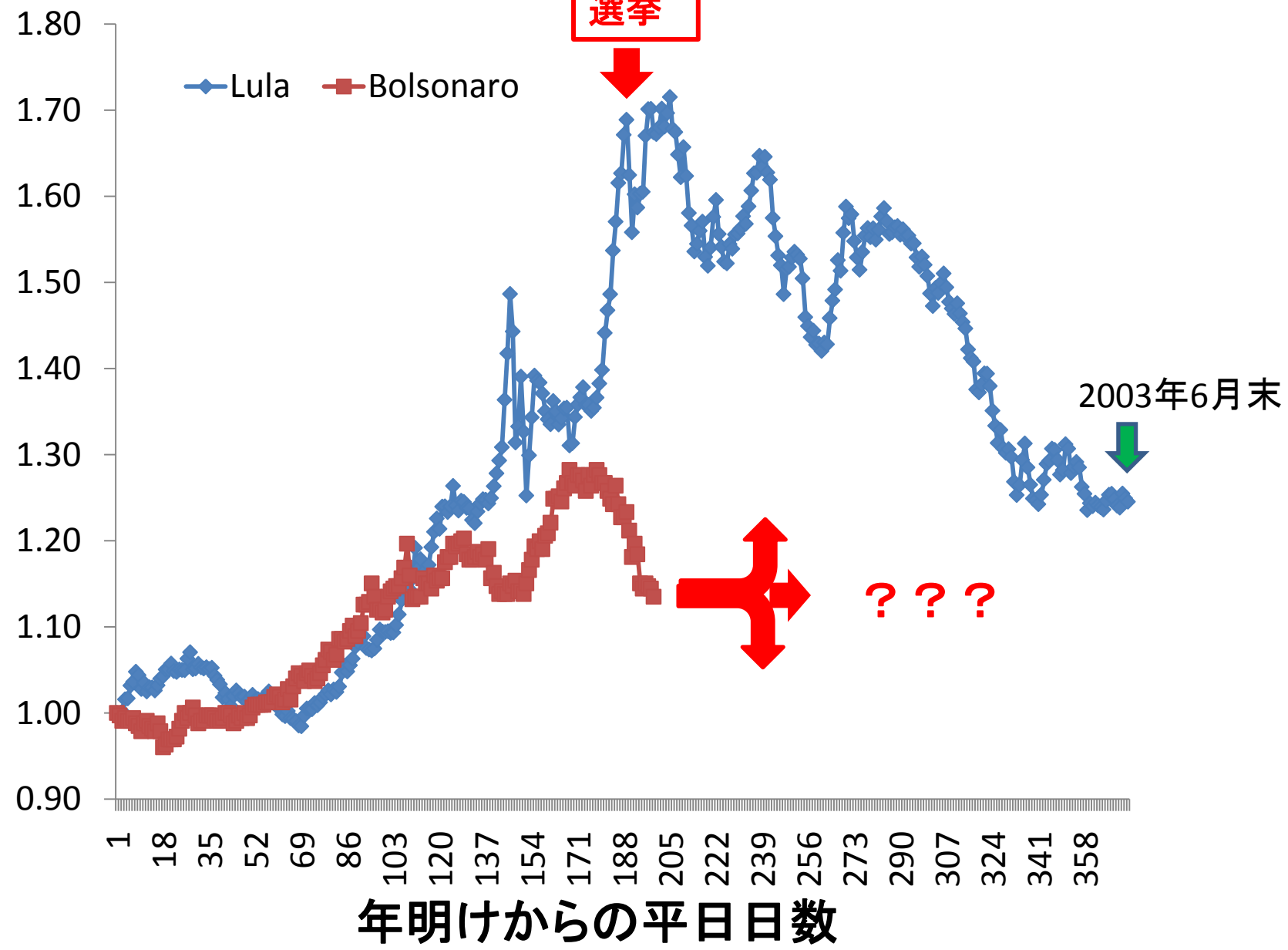
- ・差別する(女性、ゲイ等に対しての差別発言)。
- ・弱者への生活支援が脅かされる。

政治イベントと為替のボラティリティ

R\$/US\$



対年初の倍数



2015年・Dilma大統領弾劾騒動でも為替は大きく変動



過去の変動時よりも為替のコントロール条件は改善している

	2002年6月	2015年1月	2018年8月
外貨準備高(億ドル)	420	3,617	~3,800
政策金利(%)	18.50	12.25	6.50
インフレ(年率:%)	7.41	7.14	4.19

➡ 財政改革を逆行する候補者が有利になった場合、レアルの下落をどこまで抑止できるか？

注意ポイント

- ・経済は回復基調にあるように見えたものの、現時点では混迷状況？
- ・政治がコントロールを失った・失う？影響が大きい？
- ・プライマリーバランス等の経済改善のためには法改正が必要で、政治・経済の動きをセットで考える必要がある



- ・労働改革法、PEC do Teto の可決は大きな前進
- ・しかし、次期政権での年金改革法、税制改革法の行方がポイント
- ・次期政権は経済運営は勿論の事、国会運営にも異次元な能力が必要



- ・Temer大統領後の政権が、現経済回復軌道を継承するか否かも重要

①大統領選挙後の100日：市場とハネムーン？

100日後の市場との関係は？ブラジリアの運営は？

②米中貿易摩擦 & 中国経済の減速(大?)を考慮しない？

コモディティ頼りのオランダ病はまだ治療されていない！

③3,800億ドル強の外貨準備高だが、政治混乱の場合どこまで為替コントロールができる？

④Bolsonaroは中国嫌い？